

退職者を送る会

庶務担当 河野亜香里

3月18日(木)センター多目的ホールにて、退職者を送る会を開催しました。昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりましたが、今年度は感染症対策を十分にとり開催することができました。例年のようにホテルを借りての盛大なパーティーというわけにはいきませんでした。これまでの御貢献に対し感謝の気持ちを込めて、退職者へ花束と記念品



を贈呈しました。

今年度退職を迎えられる皆さま、長い間東京都に多大なる貢献をいただき本当にありがとうございました。今後もますます御活躍されることを祈念いたします。



新型コロナウイルスワクチン接種シミュレーション

広報担当 石田達矢

当センターは、新型コロナウイルスワクチン連携型接種施設として、医療従事者や利用者への接種に向け、様々な準備を進めています。ワクチン準備から、被接種者の受付・接種・待機場所での待機までの時間経過や動線等の確認、さらにワクチン接種後に体調が悪くなる方の発生を想定したシミュレーションも行い、医師や看護師を中心に、被接種者の安全確保についても入念に確認しました。



取扱いに十分注意が必要なワクチンのため、緊張感漂う中でのシミュレーションとなり、参加スタッフからは、それぞれの役割の視点から指摘・意見が寄せられ、ワクチン接種時の課題を見つけることができました。

国内でのワクチン供給は厳しい状況ですが、ワクチンが供給され次第、安全かつ円滑なワクチン接種が行えるよう、今後も準備していきます。

〒183-8553
東京都府中市武蔵台2-9-2
東京都立府中療育センター
電話 042(323)5115
FAX 042(322)6207

--*ホームページもご覧ください*-*-*
<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/fuchuryo/index.html>

府中療育センター新聞

東京都立府中療育センター 第519号 発行日 令和3年3月31日

半日バスハイク

2D病棟 中河由利子

3月3日(水)、春の街並みを見に、利用者3名で多摩センター方面へドライブに行ってきました。この日は曇りでしたが丁度良い暖かさでした。車内では、童謡の音楽を聴きながら車窓から見える景色を楽しみました。梅や早咲きの桜・ミモザの花などが咲いており、サンリオピューロランドの可愛い外壁も見ることができました。ある利用者は、童謡の歌に合わせて楽しそうに体を動かしたり手を叩いていました。また、ある利用者は好きな歌が聴こえると、目を大きく見開いて嬉しそうにしていました。また、ある利用者は転棟して初めてのバスハイクで、近くで歌を歌うと目を開けて楽し気な顔をしたり、バスの揺れで気持ちよさそうに眠っていました。



今回は、公園にて草木や花を見るなどの春を感じるという予定でしたが、感染症対策の為、バスから降りることはできませんでした。しかし、車窓からの景色を眺めたり、歌を楽しむことができ、充実したドライブでした。

お誕生会&お楽しみ会

3A病棟 青柳絵理子

お誕生会とお楽しみ会を行いました。お誕生会では、職員がハンドベルで「Happy Birthday to you」の演奏と、ドレミパイプで「春の小川」の演奏を行いました。今まであまり見たことも聞いたこともない、打たくと音の出るプラスチックの長いパイプの楽器「ドレミパイプ」に利用者みなさんも興味津々…。ほぼ初めて触るスタッフたちも、とまどいながら演奏は大成功!! 2名のお誕生者の方は、4月から毎月毎月、自分の誕生会を待ちに待ち、ようやく御自分の誕生会をみなさんにお祝いしてもらい、満了した様子でした。



その後の「お楽しみ会」では、予定していた招待観劇は中止になってしまいましたが、お招きするはずだった「宮ノ下シリュウさんのマリンバコンサート」の演奏DVDを、大きなスクリーンに映して鑑賞しました。ゆったりとした曲から、宮ノ下さんお得意の速いリズムカルな曲まで。様々な曲を、職員と共にリズムを取ったり、唄うように口を動かしたりと、みなさんしっかりとスクリーンを見つめ、コンサート気分を楽しむことができました。

卒園式

通園主任技術員 土屋明子

3月26日、府中療育センター通園として初めての卒園式・退園式を行いました。多摩療育園の時は在園児も参加し、卒園児と転園児と一緒に盛大に送り出してきましたが、今年度はコロナ禍であり、3密を避けるため、式典を二部制として参加人数を最小限に抑えた実施となりました。そのため、事前に各クラスで『おわかれ会』を行い、お友達や保護者の皆さんで門出をお祝いしました。式当日、初めての多目的ホール、そして普段とは異なる静かな雰囲気、驚いた表情を見せた卒退園児。一人ずつ保育証書を受け取る際には緊張した顔をする子もいましたが、その後のスライドショーでは、みんなで通園での日々を振り返り、その成長を喜び合う温かな雰囲気を感じ、ほっとしてかわいい笑顔を見せてくれました。通園での姿をなかなか見る機会がなかった保護者の方にとっても、その成長を確認できる良い時間になったようでした。

例年行っている卒園児からの歌、在園児・職員からの歌のプレゼントもない短時間での卒園式・退園式となりましたが、保護者のみなさまにも温かく見守って頂き、無事に府中療育での初めての卒園式退園式を終えることができました。通園に通い、色々な遊びの経験を積み重ね、心豊かにたくましく成長してきた子どもたちは次のステップへ進んでいきます。



セクション紹介(医療福祉相談室)

医療福祉相談室相談主任技術員 古寺久仁子

医療福祉相談室は、1階の総合受付の横にあり、ソーシャルワーカー8名と地域療育支援科担当課長が業務を行っています。旧センターと比べて場所がわかりにくい、ワーカーがどこにいるかわからないという御意見をいただき、ドアの横に動物の絵の案内や外来患者の方々の作品である折り紙も掲示してみました。いかがでしょうか？

ソーシャルワーカーは病棟担当を持ち、サービス管理責任者や児童発達支援管理責任者として長期利用者の支援を行い、短期入所利用者の調整や入退所の支援をしています。そのほか、通所利用者の相談や、多摩療育園との統合により、外来初診の受付と調整、外来患者の相談や医療型児童発達支援（通園）利用児の相談等も行っています。御家族や利用者との御相談の際には、3つある面接室やカンファレンスルームで行っています。

ソーシャルワーカー全員がよく通る声の持ち主のため、相談室のドアを閉めています。どうぞ御遠慮なくお立ち寄りください。



無事修了式を終えることができました！

くぬぎ分教室 林京子

3月25日（木）、都立府中けやきの森学園くぬぎ分教室の今年度の教育活動が終了いたしました。今年度は小学部に新1年生を迎え、全部で小学部児童3名、中学部生徒1名、高等部生徒1名の計5名となりました。

新1年生を迎える入学式の準備をしておりましたが、新型コロナウイルス感染症防止のため、入学式は中止、代わりに、参加者を院長先生はじめ、病棟のプライマリー看護師の方々などに限り「入学を祝う会」として、新1年生の入学を御祝いしました。

しかし、その後、緊急事態宣言が発出され、4月5日と学校が休校となりました。新1年生も在校生もみな新たな学年となり、希望にあふれている時の休校。毎日やっていた授業ができなくなり、辛い日々が続きました。そして6月になり、ようやく授業再開！当たり前授業があることの喜びを児童・生徒と共有しました。

また今年は、5月に旧センターから新センターへ移転もありました。新しい環境になり、児童・生徒に戸惑いはないか心配しましたが、みんな本当に落ち着いて普段どおりに授業を受ける姿に頼もしさと、休校の間、病棟の皆様がきめ細かな御対応をしてくだっていたことが伝わってきました。早速、生活単元学習で「くぬぎ分教室」の看板を制作し、入口に設置しました。



毎年10月に行われる療育センター祭は、劇発表で参加させていただいておりましたが、今年は新型コロナウイルスの影響で、劇をDVDにして参加しました。内容は、くぬぎ分教室の5人の仲間が力を合わせて、日頃取り組んでいる個々の課題を用いて鬼退治をする昔話です。当初は、実際に劇を見ていただけないことを残念に思っておりましたが、療育センター祭で上映されたDVDを見てくださったセンターのたくさんの方々から、嬉しい感想をいただきました。このような形で児童・生徒の学習の様子を皆さんと共有できたことは良かったです。

また、療育センター内の屋外散策には、病棟の看護師の方々が付き添ってくださいました。看護師の方々が付き添ってくださることで、安心してセンター内のいろいろな道を通ったり、植物を観察したりと、日頃行えない貴重な体験をすることができました。

こうして一年間無事に過ごすことができましたのは、毎回、授業に間に合うように入浴を済ませてくださる、活動に付き添いをしてくださる、活動場所の調整をしてくださる、励ましの声をかけてくださるなど療育センターの皆様の温かな支えがあったからと感謝の気持ちで一杯です。これからもくぬぎ分教室の児童・生徒の成長を見守り応援してください！

